

埋蔵文化財発掘届出の提出について

橿原市教育委員会 文化財課

橿原市内で建築・擁壁・盛土・切土等の土木行為を行なう場所が埋蔵文化財包蔵地（遺跡）に入っている場合、文化財保護法第93条第1項の規定による以下の諸手続きが必要となります。

①「埋蔵文化財発掘届出書」提出

周知の遺跡内で土木行為を行おうとする場合は、「埋蔵文化財発掘の届出書」を工事に着手する60日前までに、県知事宛に届出なければなりません。（届出の提出先は、橿原市文化財課です。）

必要書類 ※埋蔵文化財発掘の届出書

※土地所有者の承諾書（申請者と土地所有者が異なる場合のみ）

※委任状（代理人を立てる場合）下記参照

- ・付近見取図（縮尺 2,500 分の1程度）（住宅地図程度）
- ・配置図（建物等配置図）
- ・平面図（現況図、土地利用計画図、給排水図等一式）
- ・敷地断面図（現況及び計画）
- ・基礎伏平面図・断面図
- ・各種図面（擁壁等平面・断面図、浄化槽図面等一式）

※印のついた各書式は文化財課窓口もしくは橿原市ホームページから入手できます。

以上の書類を藤原宮跡・藤原京跡は4部、それ以外の遺跡は3部提出してください。

委任状

届出者に代わり代理人が届出提出等諸手続を行う場合、委任状が必要となります。下記、委任内容から代理人に委任する権限を選び明記して下さい。明記されていない権限については、届出者本人を権限者としてします。

該当する委任権限（下記参照）を記入のうえ、上記、必要書類部数と同部数提出して下さい。

【下記、全ての権限が委任されている場合】

- ・一切の権限

【具体的に権限が委任されている場合】

- ・届出の提出
- ・県文化財保存課通知文の受領
- ・届出の一部訂正及び一部変更願い等の提出
- ・県文化財保存課通知に関する取扱いについての協議（調査機関と施工業者間との連絡調整含む）
- ・本調査の際の事前協議（日程・経費等）

委任内容

②提出についての通知（回答）

届出提出後、県文化財保存課からの通知（回答）が届出者（代理人）宛に橿原市文化財課から届きます。通知の内容は慎重工事や工事立会、発掘調査（試掘調査を含む）がありますので、その内容に従い、具体的な取扱いについて文化財課と協議して下さい。

◆問い合わせ先◆ 〒634-0826 奈良県橿原市川西町 858-1 橿原市教育委員会 生涯学習部 文化財課
T E L 直通 0744-47-1315
代表 0744-22-4001
F A X 0744-26-1114
Eメール：bunkazai@city.kashihara.nara.jp

埋蔵文化財取扱いの流れ

橿原市教育委員会文化財課対応

予定地における遺跡有無の確認

※事前に必ず行って下さい

周知の遺跡内

工事着工60日前までに提出（文化財保護法規定）

埋蔵文化財発掘届出書提出

奈良県知事宛
橿原市教育委員会文化財課へ提出

審査

奈良県文化財保存課が一定期間、審査を行ないます。

県文化財保存課による通知（回答）

発掘調査

工事立会

専門職員による現地工事立会

慎重工事

専門職員の現地立会不要

試掘調査

本調査

保存
（変更届提出）

本調査不要

調査担当（市文化財課）
※他機関が行う場合もあります

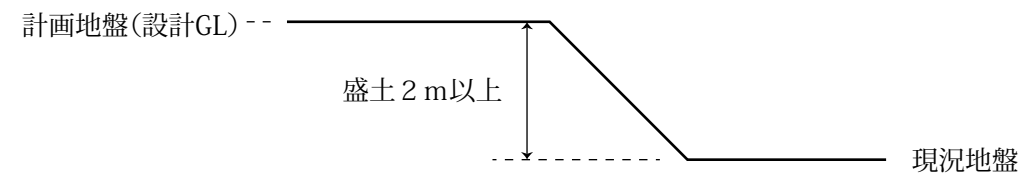
遺構保存

工事着工

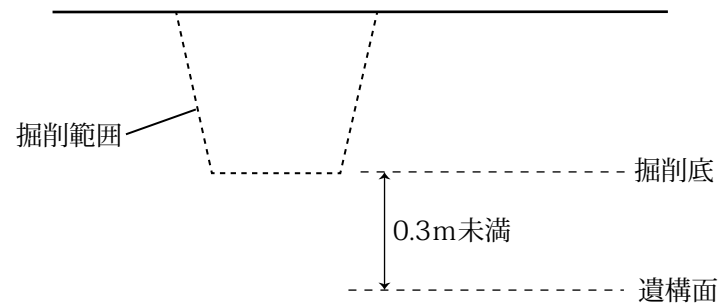
※専門職員による現地工事立会を行う場合があります

発掘調査が必要となる判断基準

1. 「おおむね 2 m 以上」の盛土を行う場合。



2. 掘削等により保護層(遺構面上面より厚さ 0.3 m 以上)が確保できない場合。

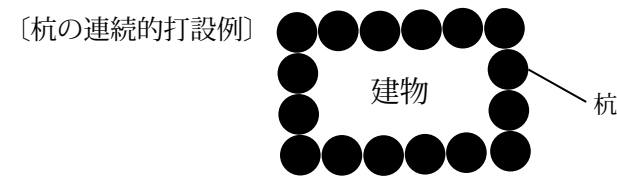


3. 基礎杭打設等により遺構の一部が損傷を受ける場合。(建築面積 150㎡以上)

(ア) 損傷を受ける埋蔵文化財の面積の合計が 50㎡以上

(イ) 損傷を受ける埋蔵文化財の面積の合計が建築面積の 5% 以上

(ウ) 個々の基礎杭の最大幅或いは最大径が 1 m 以上で連続的に打設

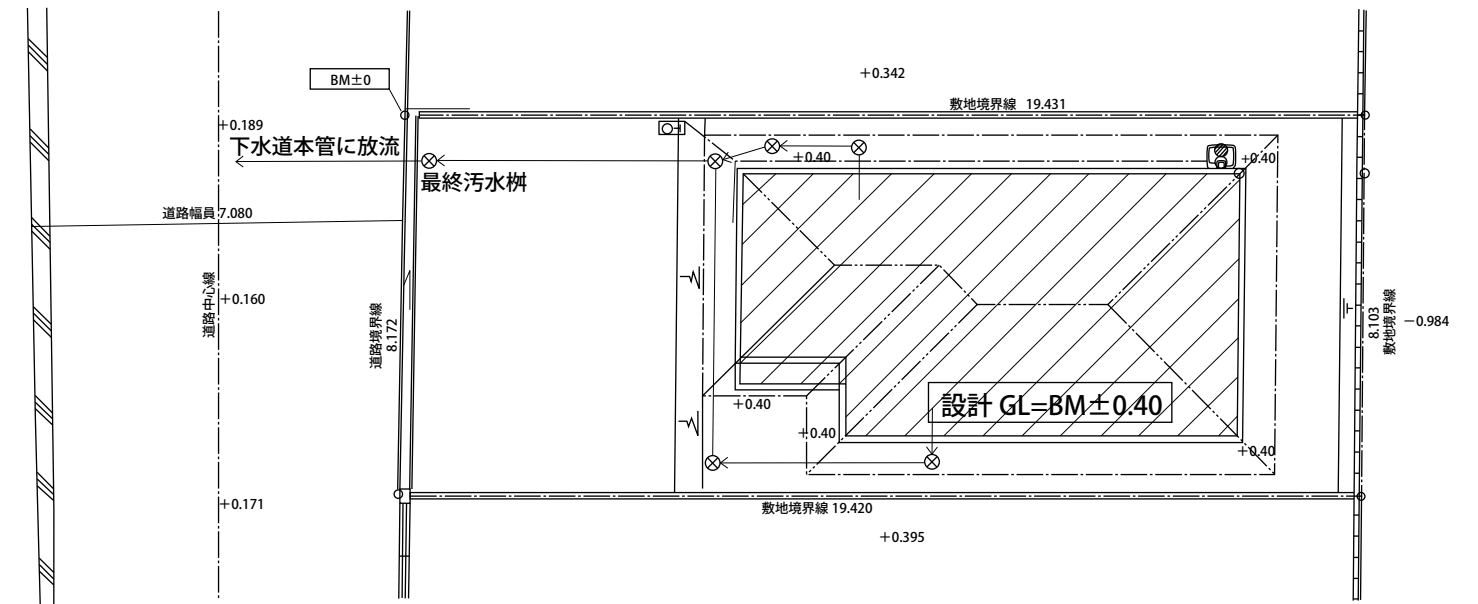


※杭の連続的打設にあたるかどうかは、事前に確認が必要です。

※ただし、上記 1 ～ 3 (ア～ウ) の全ての要件に該当しない場合、発掘調査は不要。

配置図の見本

【公共下水道の場合】



【浄化槽の場合】

